

2021 年 5 月 11 日

国内 10 工場体制に強化 岡山県瀬戸内市に「岡山瀬戸内工場」を新設 立地表明覚書を締結

アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、国内競争力強化を図るための製造・物流拠点として、岡山県瀬戸内市に国内 10 工場目となる「岡山瀬戸内工場」を新設することを決定し、本日 5 月 11 日に立地表明覚書を岡山県、瀬戸内市と締結します。竣工時期は 2025 年 10 月の予定です。

アイリスオーヤマは、新型コロナウイルス感染症拡大に対する対応として、2020 年にマスクの国内生産に加えて、AI サーマルカメラやデスクスクリーンなどの感染症対策商品を発売することで感染拡大の防止に貢献しています。また、巣ごもり需要によるクリーナーや電気圧力鍋などの生活・調理家電、テレワーク需要によるデスクやチェア、ディスプレイモニターなどの商品売上が好調に推移しています。また、海外でもコロナ禍の影響を受けて、インターネット通販が好調に推移し、アイリスグループ※の 2020 年度売上高は 6,900 億円（前年比：138%）、経常利益 9.0%とともに過去最高を達成しています。

今回、工場を新設する岡山県瀬戸内市の第 2 宮下産業団地は、岡山県の南東部に位置し、市道南北線を経由して、岡山ブルーラインや国道 2 号線、山陽自動車道の主要道へのアクセスが非常に優れた場所であり、中国・四国地方および西日本全域へのスピーディな出荷を行う拠点として最適な位置にあります。また、国内最大級の約 80,000 パレットの自動倉庫を備えることにより、西日本エリアの物流拠点としての役割を担い、今後のアイリスグループの事業拡大に伴う物流量の増加と取り扱い商品数の増加にも対応します。

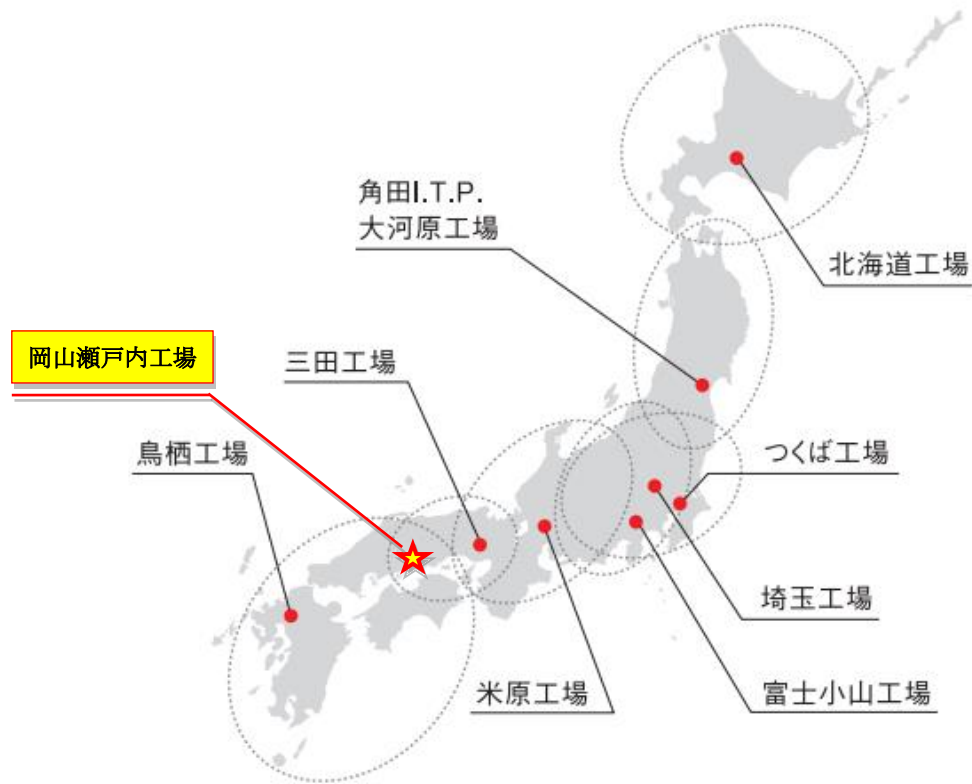
■「岡山瀬戸内工場」概要

所在地	：岡山県瀬戸内市長船町士師 第 2 宮下産業団地
土地面積	：約 61,000 m ²
建物総面積	：約 150,000 m ² （延床）
自動倉庫	：約 80,000 パレット
生産品目	：家電製品
工事着工時期	：2024 年 12 月（予定）
竣工時期	：2025 年 10 月（予定）
総投資額	：約 100 億円
従業員数	：200 名

※ アイリスオーヤマを含む 29 社のグループ会社。

NEWS RELEASE

■アイリスオーヤマ 国内工場



■国内工場概要

工場名	岡山 瀬戸内	北海道	角田	大河原	つくば	埼玉	富士 小山	米原	三田	鳥栖	合計
敷地面積 (㎡)	61,000	44,852	344,576	64,113	63,214	102,118	22,890	155,892	39,099	159,736	1,057,490
工場床面積 (㎡)	150,000	17,917	61,444	35,251	52,629	82,290	31,258	61,149	32,365	112,753	637,056
自動倉庫 パレット数	80,000	11,286	26,105	39,768	51,876	62,437	18,307	53,338	28,608	64,816	436,541